



2022年5月12日

各位

会社名 キッズウェル・バイオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 谷 匡治
(コード番号: 4584 グロース)

問合せ先 執行役員 栄 靖雄
経営管理本部長
(TEL. 03-6222-9547)

業績予想との差異に関するお知らせ

2021年5月13日に公表し、2021年10月21日付「特別利益（投資有価証券売却益）の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正を行った2022年3月期の通期連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,900	△1,720	△1,740	△1,323	△42.91
実績(B)	1,569	△919	△952	△535	△34.79
増減額(B-A)	△330	800	787	787	
増減率(%)	△17.4	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	996	△969	△991	△1,001	△34.79

2. 差異の理由

売上高につきましては、バイオシミラー事業の第4製品目の上市を目指すパイプラインにおいて、原薬製造プロセスに係る開発計画の一部変更により、開発スケジュールに影響ないものの一部の売上が未発生となった点、当社が扱う SHED を再生医療等製品として製品化するための基となるマスターセルバンク完成にかかる収益が、GMP 製造は完了したものの検査試験等のプロセスが次期に繰り越されたため、かかる収益の発生に至らず差異が生じております。

また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の差異につきましては、売上高の減少に加えて研究開発費の実績値が業績予想値（1,800 百万円）より約 650 百万円減少したことが主な要因であります。これらの内訳としては、当社開発品目である JRM-001 について、パートナーリング活動を進めていたため、研究開発費の一部が発生しなくなったこと、並びに当社のバイオシミラー製品である GBS-007 の原価低減を実現するための研究開発費の一部が次期へ繰り越したこと、及びその他パイプラインにおいて開発工程の効率化により当初想定予算より費用が削減できたためであります。

以上